

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)

ダイバーシティが牽引する 地域活性化とイノベーション

～食・医療・女性のパワーが拓く未来社会～
令和2～3年度事業報告書



Contents

■ ご挨拶	・ 国立大学法人山梨大学 学長 ・ 国立大学法人山梨大学 理事、副学長 ・ シミックホールディングス株式会社 COO ・ 株式会社はくばく 取締役管理本部長	島田 眞路 …… 2 風間 ふたば 大石 圭子 田邊 征治
■ 事業概要	・ 事業の目的 …… ・ 実施体制 ……	3 5
■ 令和2～3年度 主な実施内容		6
■ 活動報告		
(1)ダイバーシティ研究環境整備		
・ クロスアポイントメント制度の導入 ……		7
・ キックオフシンポジウム ……		9
・ ダイバーシティマネジメント研修会 ……		10
・ 男女共同参画講演会 ……		11
・ キャリアアシスタント（CA）制度 ……		13
・ 産休・育休からの復帰支援制度		
・ 論文投稿費と英文校閲費支援制度 ……		14
・ 保育園との連携		
(2)女性研究者の研究力向上とリーダー育成		
・ 共同研究 ……		15
・ 女性管理職の登用加速に向けた調査分析 ……		16
・ 次世代リーダー育成企画 女性社長対談 ……		17
・ スキルアップセミナー ……		18
・ 若手研究者育成セミナー ……		21
・ 地域貢献型研究支援 ……		22
・ Coの花フェローシップ ……		24
・ 男女共同参画学術研究奨励賞		
(3)女性研究者の上位職登用、裾野拡大		
・ ホームページの開設 ……		26
・ 事業リーフレットの発行 ……		27
・ News Letterの発行 ……		28
・ ロールモデル集「ナシダイResearchers」の発行 ……		31

ご挨拶

国立大学法人山梨大学 学長 島田 眞路

我が国では、男女の性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」の実現は重要な課題となっています。山梨大学においても、男女共同参画の加速を大学運営の緊急かつ重要な課題と位置づけ、本学に集うすべての構成員が、その個性と能力を十分に発揮できる大学とするよう努めています。

本学の男女共同参画推進室では、平成24年に文部科学省科学技術人材育成費補助金「女性研究者研究活動支援事業」の採択を受け、ライフイベント中の女性研究者を支援する制度やワーク・ライフバランスの推進を含む学内の環境整備の基盤を構築し、現在に至っています。また、学長に就任した平成27年には、「男女共同参画の加速のための山梨大学学長行動宣言」を発表し、女性研究者の育成やリカレント教育事業など着実な活動を継続しています。このような事業を通じ、全学的に女性研究者の採用を推進しているものの、特に理工系の女性研究者数は伸び悩んでいる現状があります。

令和2年度に採択された、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」では、共同実施機関である「シミックホールディングス株式会社」および「株式会社はくばく」とともに、女性研究者育成を中心とした事業を展開しております。本事業は、企業と大学間の活発な人材交流から、総合的なキャリアマネジメントの仕組みを織り込んでいることを特徴とし、女性研究者の増員のみでなく、女性人材育成の拠点として地域に貢献できるものと考えています。

本事業により、多様な人材が意欲をもって、多様な価値観と自由な発想を源泉とする学術文化の展開に取り組み、その能力を遺憾なく発揮できる環境整備を整えたいと考えており、皆様の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



国立大学法人山梨大学 理事、副学長 風間 ふたば

性別や種類を問わず、すべての学生・教職員が充実した社会生活を送れる環境づくりをめざして、学内での各事業に取り組んでまいりましたが、今回はその範囲を広げて企業との連携に挑戦しております。連携の“場”を作りつつ、大学や企業の女性研究者が中心となる共同研究などへの支援と大学院に在籍する優秀な女子学生への支援を行うことで、より多くの女性研究者がそれぞれの力をのびやかに発揮できる環境を整えたいと考えています。



共同実施機関 シミックホールディングス株式会社 COO 大石 圭子

当事業の取り組みを通して、地域における女性活躍を推進し山梨を盛り上げていく力になるとともに、将来リニア新幹線が開通し世界との距離が近くなる山梨が、ダイバーシティを世界に発信できる地域へと発展していく礎となることを願っております。女性活躍の先に見据える個々人の生き方や考え方を認め合える社会づくりをシミックグループも推進しておりますので、共同実施機関として当事業の成功に貢献していきたいと考えております。



共同実施機関 株式会社はくばく 取締役管理本部長 田邊 征治

はくばくでは、男女問わず全社員がいそいそと同じ立場で働ける職場の実現を目指し、ソフト・ハード両面から働き甲斐のある職場環境の整備を進めてまいりました。食品会社ということもあり、特に商品開発部門へ積極的に女性スタッフを登用し、数多くの商材を開発してきましたが、研究開発部門においては女性の力を十分に引き出せているとは言えませんでした。そのような中、令和2年度に本事業に採択されたこと、女性研究者の活躍を後押しするための千載一遇のチャンスととらえています。

今後とも、その実現に向け「出来ること」をしっかりと定め、連携三者で地域人材の育成と産業活性化に力を尽くしていきます。



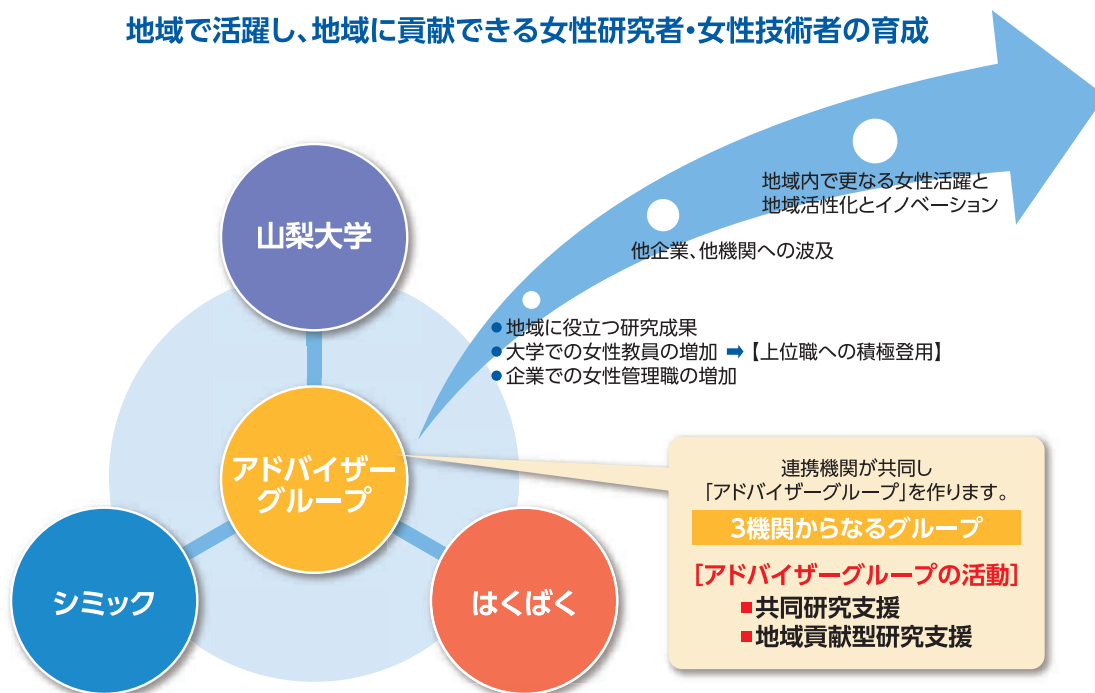
事業の目的

令和2年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」に採択されました。山梨大学、シミックホールディングス株式会社、株式会社はくばくの三機関が連携し、地域のダイバーシティ環境の牽引を目指した各種の取り組みを進めます。

本事業の骨子は、クロスアポイントメント制度による大学と企業内の女性研究者の活発な人事交流の促進と、女性研究者を代表とする共同研究と地域貢献型研究への支援です。

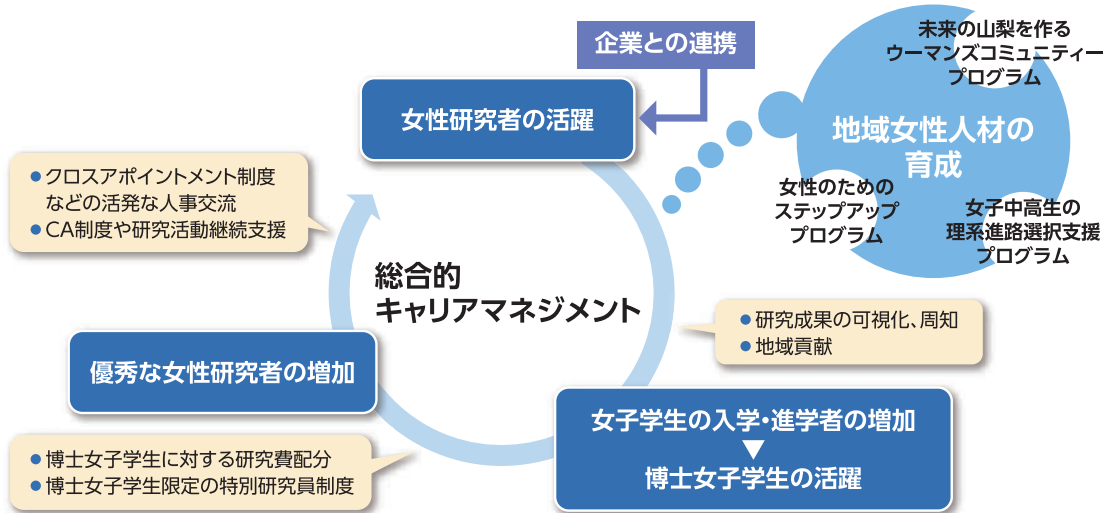
特に共同研究の推進においては、「アドバイザーグループ」により、女性研究者の研究活動を確実にサポートします。また、共同研究への大学院女子学生の積極的な参加を促すとともに、博士課程へ進学する女子学生への各種支援も用意して、地域を担う若手女性研究者の活躍による、地域イノベーションモデルの創造を目指します。

地域での取り組み

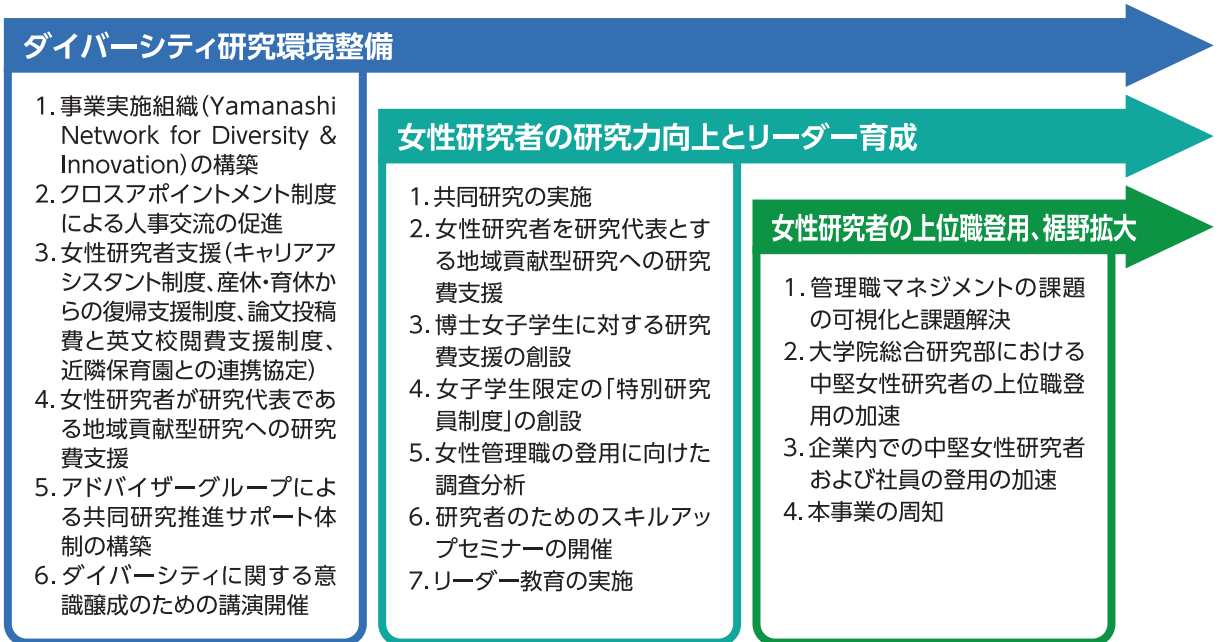


事業概要

総合的キャリアマネジメントの循環



環境支援と整備

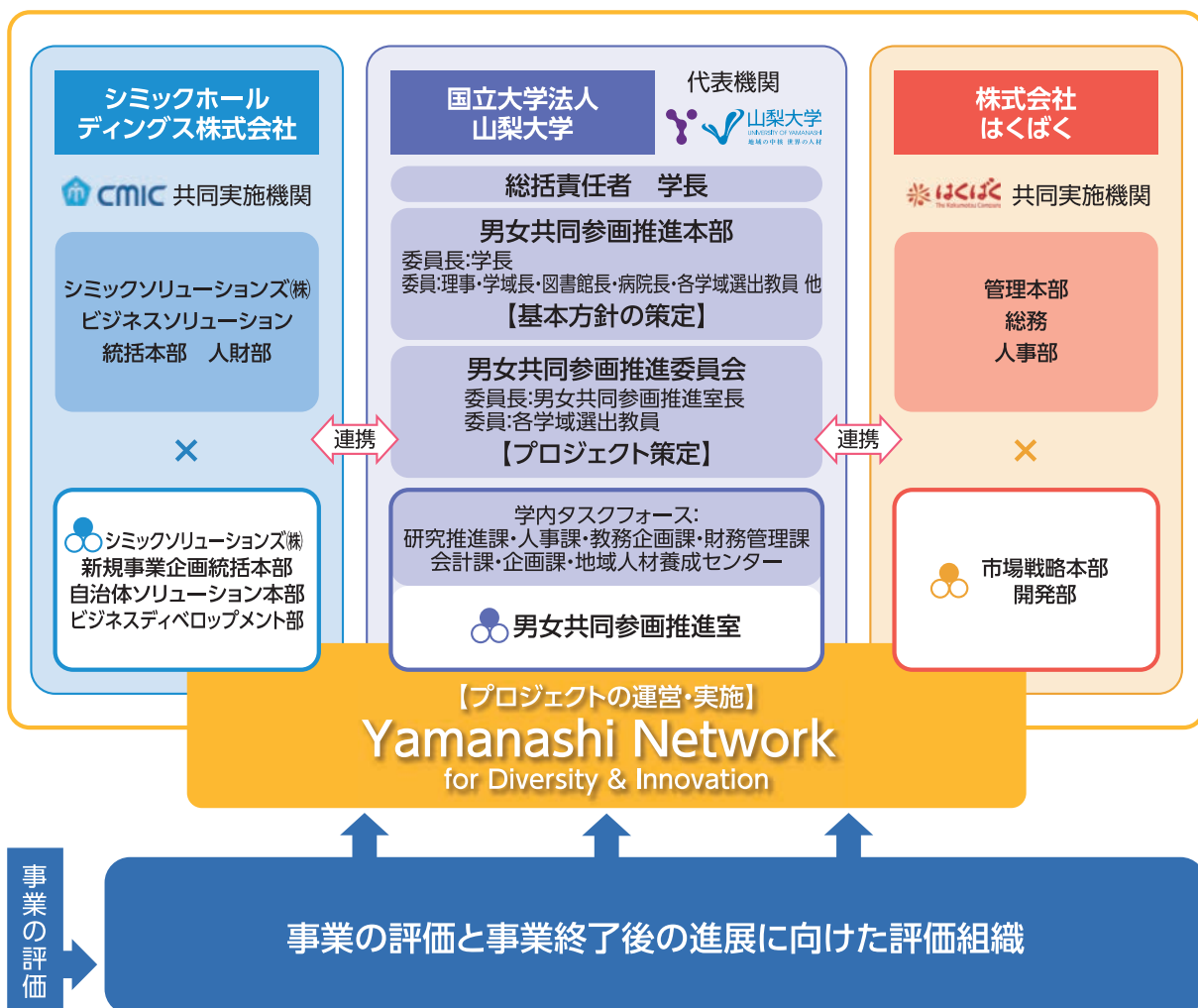


実施体制

本事業では、代表機関である山梨大学が医薬品の研究開発や付加価値向上などの各種支援を国内外で広く手掛けているシミックホールディングス株式会社、穀物販売を通じ人々の健康と豊かな食生活を実現することを理念とする山梨県内企業の株式会社はくばくと連携して、女性の能力を生かしたイノベティブな研究推進環境の創設による地域活性化のモデル作りを目指します。

「Yamanashi Network for Diversity & Innovation」を通じて、関係機関による連携・協力体制を構築しプロジェクトを牽引します。

連携体制



令和2～3年度 主な実施内容

月 日	主 な 実 施 内 容
－令和2年度－	
11月	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）採択
11月 18日	令和2年度山梨大学男女共同参画学術研究奨励賞表彰式
12月 16日	令和2年度山梨大学男女共同参画講演会
1月 15日	スキルアップセミナー「Online Seminar for Writing Academic papers in English」
2月	News Letter Vol.1発行
3月	News Letter Vol.2発行
3月	ロールモデル集「ナシダイResearchers Vol.8」発行
3月 1日	キックオフシンポジウム
－令和3年度－	
4月	Coの花フェローシップ採用
6月 1日	クロスアポイントメント教員採用
6月 16日	第1回スキルアップセミナー「Online Seminar for Writing Academic papers in English」
6月 30日	令和3年度ダイバーシティマネジメント研修会
7月	News Letter Vol.3発行
8月 19日	第1回若手研究者育成セミナー「統計学講座」
9月	News Letter Vol.4発行
9月 2日	第2回若手研究者育成セミナー「統計学講座」
9月 16日	第3回若手研究者育成セミナー「統計学講座」
9月 21日	次世代リーダー育成企画「女性社長対談」
9月 27日	第2回スキルアップセミナー「英語論文の書き方オンラインセミナー」
11月 16日	令和3年度山梨大学男女共同参画学術研究奨励賞表彰式
12月	News Letter Vol.5発行
12月 8日	令和3年度山梨大学男女共同参画講演会
2月	第3回スキルアップセミナー「英語論文の書き方オンラインセミナー」
3月	News Letter Vol.6発行
3月	ロールモデル集「ナシダイResearchers Vol.9」発行
3月	令和2～3年度事業報告書発行

(1)ダイバーシティ研究環境整備

連携して行った取り組み

クロスアポイントメント制度の導入

共同実施機関または他の企業と大学間で行う共同研究の推進者として専門分野や能力によって大学の講義の一部を担当してもらう等、大学と企業内の活発な人事交流の促進を図ることを目的としました。

本制度を活用することで、本学女子学生が複数の企業の女性研究者のロールモデルと出会う機会が得られ、副次的に女子学生の大学院進学や理系専門職への就職を促すことが期待されます。また、クロスアポイントメント制度を活用し採用された企業女性研究者においては、大学における活動を通し、管理職などの上位職への育成の機会となることが期待されます。

令和3年度クロスアポイントメント教員

令和3年度は、以下の3名が、本学地域人材養成センター特任助教として採用されました。

企業	氏名	所属、活動内容
株式会社 はくばく	中島 聡子	株式会社はくばく 市場戦略本部開発部研究開発課所属 大学においては、生命環境学部地域食物科学科食品栄養学 研究部門において株式会社はくばくとの共同研究の推進 を行う
シミック ホールディングス 株式会社	本田 桜	シミック株式会社 臨床事業第三本部所属 日本CRO協会CRA 医学部とシミックホールディングス株式会社で行う共同 研究の推進を行う 授業や本学キャリアセミナーなどの講師として、学生と 人事交流を図る
シミック ホールディングス 株式会社	真島 奈都美	シミック株式会社 臨床事業第三本部所属 日本CRO協会CRA 医学部とシミックホールディングス株式会社で行う共同 研究の推進を行う 授業や本学キャリアセミナーなどの講師として、学生と 人事交流を図る

活動報告

(1)ダイバーシティ研究環境整備

令和3年度クロスアポイントメント取組内容

共同研究進捗報告および合同勉強会

- ・アドバイザーグループ内の定例会において、クロスアポイントメント教員による共同研究進捗報告を定期的に行い、研究内容の詳細について情報共有を重ねました。また、共同研究内容に関する合同勉強会を行いました。

授業における講義

- ・生命環境学部授業「現代生活とバイオテクノロジー」講義担当

授業担当教員：生命環境学部生命工学科 山村 英樹 准教授

日時：令和3年10月28日（木）9:00～10:30

方法：Zoom配信

受講生：36名

題目：企業におけるバイオテクノロジーの活用 薬ができるまでの企業の関わり

感想：

- ・治験という言葉は聞いたことがあったが詳しくは知らなかったため、とても勉強になりました。
- ・薬関係の仕事は薬学部や医学部などの限られた人のみが行っていると思っていたが、様々なバックグラウンドを有する人が集まっていると知り驚きました。

キャリアセミナーへの登壇

- ・「第58回発生工学研究センターセミナー」

セミナー担当教員：生命環境学部地域食物科学科 望月 和樹 教授

日時：令和3年11月25日（木）16:30～18:00

場所：山梨大学甲府キャンパスM12教室（Zoom同時配信）

受講生：35名（会場20名、Zoom配信15名）

題目：社会が求めるキャリアアップ

～治験業界での経験から～

内容：

- ・CRO業界・業務の概要
CRCとCRA、製薬メーカーCRAとCROのCRAとの違い、具体的事例
理系の知識や能力が社会人生活でどう活かされるか
- ・CMIC会社概要
CMICにおける働きやすさ、やりがい、雰囲気、他社CROとの違い
求める人材や相性
- ・一般的に社会人に求められるもの（自身の経験を踏まえての私見）

山梨大学男女共同参画推進室・発生工学技術開発・実践教育プログラム協賛
第58回 発生工学研究センターセミナー
日時：2021年11月25日（木）16:30～18:00
Zoom併用ハイブリッド開催：M12教室
https://us02web.zoom.us/j/86779936386?pwd=V0pNLDI2RmZDhWU5ZlRlZVpXQkF2QT09 (ID:867 7993 6386, パス: 972081)

「社会が求めるキャリアアップ～治験業界での経験から～」
CRO（開発業務委託機関）のお仕事
講師 本田桜（シミック株式会社）※
真島奈都美（シミック株式会社）※
※ 山梨大学地域人材養成センター 特任助教

今回の目的は、現在CRO（開発業務委託機関）業界で働く担当者からの説明で、受講者の学生がCRO業界の現状と動向について知識を得ることにより、就職活動の一助となることです。

最初に医薬品開発業界の概要を説明した後、CROとSMO（治験施設支援機関）の概要・職種及び相違点、当該業界の将来性を紹介します。

次に、日本初のCROであるCMICグループ会社の概要、働きやすさ、雰囲気、将来性等を説明します。CMICホームページや就職説明会とは異なった視点で受講者へお伝えしたいと考えております。

さらに、講師の過去の経験・挫折等から、学生生活と社会人生活における違いや社会人に求められるスキル、更にはCMICが求めている人材について私見を中心に紹介したいと思います。

問い合わせ：生命環境学部 望月和樹（8829）

(1)ダイバーシティ研究環境整備

キックオフシンポジウム

- 日時:** 令和3年3月1日(月) 13:30~15:30
- 場所:** 山梨大学大村智記念学術館大村記念ホール
(Zoom同時配信)
- 主催:** 山梨大学男女共同参画推進室、
地域人材養成センター
- 共催:** シミックホールディングス株式会社、
株式会社はくばく
- 参加者:** 山梨大学教職員・学生、
シミックグループおよび
株式会社はくばくの社員、
他大学教職員 88名
(会場23名、Zoom配信65名)
- 講師:** 育休後コンサルタント
山口 理栄 (やまぐち りえ) 氏
- 題目:** ライフイベントを前提とした女性キャリア
～理工系出身者を中心として～
- 次第:** 開会挨拶
事業紹介
連携機関よりご挨拶
基調講演
質疑応答
閉会挨拶



山梨大学
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)
キックオフシンポジウム

●日 程: 令和3年 3月1日(月)
●時 間: 13:30~15:30
●場 所: 山梨大学大村智記念学術館大村記念ホール (Zoom同時配信)
●定 員: 会場20名、Zoom配信100名
●対 象: 山梨大学教職員・学生、株式会社はくばく社員、シミックグループ社員、
本事業に興味をお持ちの方(学内外問わず)
●参加費: 無料

プログラム

- ◆開会挨拶
- ◆事業紹介
- ◆連携機関よりご挨拶
- ◆基調講演: 山口理栄氏
ライフイベントを前提とした女性キャリア
～理工系出身者を中心として～
- ◆閉会挨拶
- ◆情報交換会
(会場参加者のみ)

山梨大学は、令和2年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に採択されました。この事業は、株式会社はくばく、シミックホールディングス株式会社と連携して申請したもので、「女性研究者育成」を連携の中心に置き、理学部の高学歴入職交流によって女性の能力を生かしたイノベーションな研究を推進する環境を創出し、地域人材の育成と産業活性化のモデル作りを目指しようとしています。この際、本事業の採択をうけキックオフシンポジウムを開催いたします。

●事前申込
●下記URLまたはQRコードよりアクセスし、事前申込みをお願いいたします。Zoomで視聴ご希望の方には、後日Zoomの視聴URLをメールにてお送りいたします。 申込フォームURL
●申込締切: 2月25日(木) ●URL: <https://forms.gle/DYk573bzEeJJaCz6>
●主催: 山梨大学男女共同参画推進室
●共催: 株式会社はくばく、シミックホールディングス株式会社

お問い合わせ: 山梨大学男女共同参画推進室
電話: 055-220-8350
Mail: danjo@yamanashi.ac.jp



感想

- ・実体験のご講演を中心に、とても背景が理解でき、自分のキャリアについても考え直す機会となりました。
- ・活躍されている女性の方の経験談を聞くことができて良かったです。
- ・私も育児中ではありますが、上手く両立しながら仕事をしていきたいと思いました。

活動報告

(1)ダイバーシティ研究環境整備

ダイバーシティマネジメント研修会

- 日時:** 令和3年6月30日(水) 14:00~15:00
場所: 山梨大学大村智記念学術館大村記念ホール
(Zoom同時配信)
主催: 山梨大学男女共同参画推進室、
地域人材養成センター
共催: シミックホールディングス株式会社、
株式会社はくばく
参加者: 山梨大学および山梨県立大学の教職員、
シミックグループおよび
株式会社はくばくの社員 84名
(会場25名、Zoom配信59名)
講師: 内閣府地域働き方改革支援チーム委員
渥美 由喜(あつみ なおき)氏
題目: ダイバーシティ・女性活躍を取り入れた
マネジメントとは~すべての人が働きがい
のある職場づくりを考えよう~
次第: 開会挨拶
学長挨拶
講演者紹介
講演
質疑応答
閉会挨拶

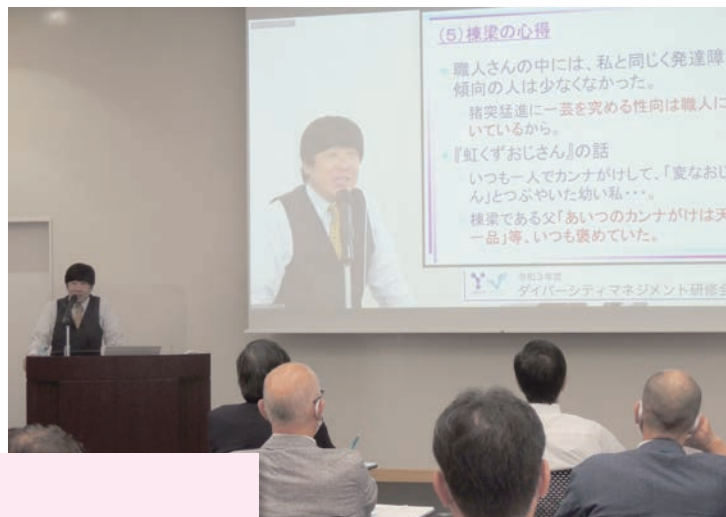


文部科学省科学技術人材育成員補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)
山梨大学男女共同参画推進室/地域人材養成センター 主催
株式会社はくばく/シミックホールディングス株式会社 共催
令和3年度ダイバーシティマネジメント研修会

「すべての人が働きがいのある職場づくりを考えよう」
ダイバーシティ・女性活躍を取り入れたマネジメントとは

■日時 令和3年6月30日(水)
14:00~15:00
■場所 山梨大学大村智記念学術館大村記念ホール (Zoom同時配信)
■定員 会場20名、Zoom配信300名
※今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、Zoom配信のみとする場合がございます。予めご了承ください。
■対象 山梨大学および山梨県立大学の教職員、シミックグループおよび株式会社はくばくの社員
■講演
あつみ なおき
渥美 由喜氏
内閣府地域働き方改革支援チーム委員
23年間、日本で働くワークライフバランスに奮闘した、ダイバーシティ、WLB分野の第一人者。これまでに海外10国9国を回り、50万のワークライフバランス、ダイバーシティ推進講座の講師、海外150社をの4600名、研修生にインスピレーションを与えてきた。
また、コンサルタント、アドバイザーとして、実際にワークライフバランスやダイバーシティに取り組む企業の現場調査をサポートする一方で、内閣府や厚生労働省をはじめとした国や自治体の政策も担った。
さらに、NHKエッセイナル、クロージング時代、産経ニュース読者の相談、毎日新聞の「くらしの時代は、私に社会を教える」(連載、定期的に連載中)も、マスメディア出演、書籍はのべ1500部を数え、日本を代表する講演者の一人。

■お申込み
下記URLまたはQRコードにアクセスし、Googleフォームより事前申込みをお願いします。
Zoomで視聴ご希望の方には、講演前日までにZoomの視聴URLをメールにてお送りします。
※申込み締切: 6月28日(月)
【URL】 <https://forms.gle/GSL8JS8zSHrpbHkT6>
【QRコード】
■お問い合わせ
山梨大学地域人材養成センター支援課 電話番号: 055-220-8350
MAIL: dango@yamanashi.ac.jp



感想

- ・講師ご自身の経験に基づく話であったため、具体的に分かりやすかったです。
- ・ダイバーシティという名前だけで勘違いしていたダイバーシティマネジメントの本質を理解できました。
- ・非常に面白い内容で、共感できる点が多くありました。多面性という点での、具体的な話がわかりやすく、社内で取組の考え方にも生かせる内容と感じました。

(1)ダイバーシティ研究環境整備

男女共同参画講演会 令和2年度

日時：令和2年12月16日（水）14:00～15:00

方法：Zoom配信

主催：山梨大学男女共同参画推進室

共催：シミックホールディングス株式会社、株式会社はくばく

参加者：山梨大学教職員、シミックグループおよび株式会社はくばくの社員 62名

講師：NPO法人ファザーリング・ジャパン 理事 東浩司（あづま こうじ）氏

題目：イクボス式マネジメント実践講座

次第：開会挨拶
講演
質疑応答
閉会挨拶

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型） 令和2年度 山梨大学男女共同参画講演会

イクボス式 マネジメント実践講座

日時 令和2年12月16日（水）14:00～15:00

場所 Zoom配信（定員300名） 対象 山梨大学教職員、株式会社はくばく社員、シミックグループ社員

プログラム
14:00～14:10 開会挨拶及び講演者紹介 風間 ふたば（山梨大学 男女共同参画推進室長）
14:10～14:50 講演会 東浩司氏（NPO法人ファザーリング・ジャパン理事）「イクボス式マネジメント実践講座」
14:50～14:55 質疑応答
14:55～15:00 閉会挨拶 風間 ふたば

令和2年10月28日、山梨大学はイクボス宣言を行いました。イクボスとは、職場で共に働くスタッフのワークライフバランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら組織の業績も上げつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司を指します。育児や介護との両立、あるいは病気治療との両立をしながら仕事を続けることは、多くの働く人々にとって身近なテーマになっています。そして、新型コロナウイルスはワークライフバランスの「ライフ」を「命」に転換し、価値観と働き方を一変させました。先行きが見えず不安な社会のなかで、イクボスが職場を明るくし、いきいきと働く環境を築くキープワゴンになります。本講演では、部下のキャリア形成と業績向上を両立するイクボス式マネジメントの実践方法について解説します。

講師 東浩司氏 NPO法人ファザーリング・ジャパン理事 株式会社アール代表

下記URLまたはQRコードにアクセスし、Googleフォームより事前に氏名、所属機関、所属部署または学部、メールアドレス）をご登録ください。後日、当室よりZoomの視聴URLをメールにてお送りします。

※締め切り 2020年12月15日（火）12:00

お申込みURL <https://forms.gle/1aRRAp5mXZv92w5> QRコード

主催：山梨大学男女共同参画推進室
共催：株式会社はくばく、シミックホールディングス株式会社

お問い合わせ 山梨大学男女共同参画推進室 電話番号：055-220-8350
Gender Equality Office, University of Yamanashi MAH.damjo@yamanashi.ac.jp

イクボス十か条

- ①理解 部下の生活環境や家庭事情などを理解し、可能な限り配慮をし、部下の人生そのものを応援する
- ②多様性 仕事をする上での「制約条件」、考え方や価値観の「違い」などを受け入れ、多様な人材を活かす
- ③知識 育休などの社内制度や労基法などの法律を、必要最小限知っている
- ④浸透 私生活充実の大切さと、権利主張の前に職責を果たそうという意識を、組織全体に浸透させる
- ⑤配慮 転勤や単身赴任など部下の私生活に大きく影響を及ぼす人事について、最大限の配慮をする

感想

- ・イクボスの考え方（マインド）、具体的な取り組み事例をご紹介いただき、非常に参考になりました。
- ・女性活躍のためには男性の協力（家庭進出など）が必要であるということに気づかされました。
- ・多様な考え方があることを理解しました。時代が変わったことを実感しました。

活動報告

(1)ダイバーシティ研究環境整備

男女共同参画講演会 令和3年度

日時：令和3年12月8日（水） 14:00～15:30

方法：Zoom配信

主催：山梨大学男女共同参画推進室、
地域人材養成センター

共催：山梨大学大学院教育マネジメント室、
シミックホールディングス株式会社、
株式会社はくばく

参加者：山梨大学および山梨県立大学の教職員・
学生、シミックグループおよび
株式会社はくばくの社員 114名

講師：一般社団法人アンコンシャス
バイアス研究所 代表理事
株式会社モリヤコンサルティング
代表取締役
守屋 智敬（もりや とまたか）氏

題目：「アンコンシャス・バイアス」を知る、
気づく、対処する

次第：開会挨拶
講演
質疑応答
閉会挨拶

文部科学省科学技術人材育成補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」
主催：山梨大学男女共同参画推進室/地域人材養成センター
共催：山梨大学大学院教育マネジメント室
株式会社はくばく/シミックホールディングス株式会社

令和3年度 山梨大学男女共同参画講演会

「アンコンシャス・バイアス」を知る、気づく、対処する

アンコンシャス・バイアスとは？
「無意識の偏ったモノの見方」のこと。
本セミナーでは、アンコンシャス・バイアスへの理解を通して、
一人ひとりが働きやすく、学びやすい大学・職場づくりをめざします。

こんなこと、ありませんか？
 直感で、相手の性格を判断することがある 任せると、自分でやっただけかと思ってしまうことがある
 「敬請」が気になり、一歩踏み出せないことがある 「常識は●●だ」「たいてい●●だ」という言葉を言うことがある

日時
令和3年
12/8 (水)
14:00 ~ 15:30

講師
もりや とまたか
守屋 智敬氏
一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所 代表理事
株式会社モリヤコンサルティング 代表取締役

Zoom配信 定員 300名 山梨大学および山梨県立大学の教職員・学生、
シミックグループおよび株式会社はくばくの社員 対象

お申込み
URLまたはQRコードにアクセス [URL] <https://forms.gle/rJP7kaMsEyk66xTVZ> [QRコード]
↓
Googleフォームより事前申込み 申込締切 12/6 (月)

お問い合わせ 山梨大学地域人材養成センター 支援課 電話番号: 055-220-8350
MAIL: danjo@yamanashi.ac.jp
山梨大学は、全国ダイバーシティネットワーク組織 関東・甲信越ブロックに加盟しています。



感想

- ・参加型の講演で、非常に楽しく面白く参加できました。
- ・「アンコンシャス・バイアス」という言葉を初めて知りました。なかなか気付けないことも今日気付くことができ、とても有意義な時間を過ごせました。」「職場の中でミーティングを多く行うため、大変参考になりました。先ずは一週間、自分のアンコンに気付くようにメモを取るようになります。

(1)ダイバーシティ研究環境整備

山梨大学が行った取り組み

キャリアアシスタント（CA）制度

ライフイベント（※）中の研究者（※）は、研究活動のパワーダウンが懸念されます。本学では、そうした時期にある研究者に対し、研究サポーターとしてキャリアアシスタント（以下「CA」という）を配置することで、ライフイベントと研究活動の両立を支援する制度を運用しています。

【支援対象者】

本学に在職する研究者のうち、共働き世帯又は一人親家庭の者でライフイベント中の者、ライフイベント中の配偶者がいる者、もしくはこれに相当すると男女共同参画推進室長が認める者。

【キャリアアシスタントによる支援内容】

文献検索、データ整理・入力、図表作成、資料収集、実験補助、その他研究業務についての補助。

● CA制度利用者数

	研究者	CA
令和2年度後期	19名	29名
令和3年度前期	17名	24名
令和3年度後期	21名	39名

産休・育休からの復帰支援制度

本学では、女性研究者のための「産休・育休からの復帰支援制度」を設けています。この制度は、出産・育児によって研究活動が中断した研究者が、職場復帰を果たし、研究の停滞を取り戻すために、復帰後における研究活動及びそれに伴う経済的負担に対して支援することを目的とするものです。

【支援対象者】

支援の対象者は、本学に在職する研究者のうち、教授・准教授・講師・助教の職位にある者で、産後の特別休暇または育児休業から職場復帰して2年以内の者とする。

【助成金の対象】

助成金は、支援対象者が実施する研究活動に係る経費（物品費、旅費、謝金）に充てるものとする。

【助成額】

助成額は、10万円とする。ただし、予算の状況により助成額が減額される場合がある。

● 復帰支援制度利用者

令和2年度 1名

※推進室では「ライフイベント」及び「研究者」を以下のように定義しています。
 ライフイベント…妊娠、出産、育児（小学校卒業までの子の養育）、介護（2週間以上の期間にわたり日常生活を営むのに支障がある家族の生活支援や世話）
 研究者…常時勤務する教授・准教授・講師・助教・研究員など、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）の研究者番号を付与されている者

活動報告

(1)ダイバーシティ研究環境整備

論文投稿費と英文校閲費支援制度

本学では、女性研究者のための「論文投稿費と英文校閲費支援制度」を設けています。この制度は、ライフイベントにより研究活動が停滞した女性研究者の論文作成に伴う経済的負担の支援を行うことを目的とするものです。

【支援対象者】

本学に在職する研究者のうち、次の各号を満たす者とする。
ライフイベント中、もしくはこれに相当すると男女共同参画推進室長が認める者。
筆頭著者として論文を作成する者。

【支援内容】

助成額は、論文一編あたり上限5万円とし、助成金の用途は論文投稿費（英文校閲費を含む）とする。

保育園との連携

社会福祉法人宮前福祉会 宮前保育園との連携

本学では、育児支援の一環として、「社会福祉法人宮前福祉会 宮前保育園」と協定を結んでおります。本学に在籍する教職員および学生は、宮前保育園が実施する一時預かり保育や病後児保育、休日保育等を利用することができます。

また、学会等の開催の際に必要な託児所設置に関わる保育士派遣制度の利用も可能です。

○連携保育園

社会福祉法人宮前福祉会 宮前保育園（甲府市岩窪町379）
宮前保育園子育て支援センターShell&Beans

共同保育所みかげの森との連携

本学では、育児支援の一環として、「株式会社創街」と企業主導型保育施設の共同利用に関する協定を結んでおります。本学に在籍する教職員は、同社が設置した「共同保育所みかげの森」を従業員枠で利用することができます。

○連携保育園

共同保育所みかげの森（南アルプス市野牛島1828-63）

(2) 女性研究者の研究力向上とリーダー育成

連携して行った取り組み

共同研究

本事業では、「女性研究者育成」を連携の中心に置き、産学間の活発な人材交流によって、女性の能力を生かしたイノベティブな研究を推進する環境を創設し、地域人材の育成と産業活性化への貢献を目指しています。

取り組みの一つとして、共同実施機関から提示されたテーマに沿った内容で共同研究を行う本学女性研究者を公募し、共同実施機関との共同研究における「女性研究者」への支援を行いました。

令和2年度

所 属	研 究 者	共同実施機関	研究テーマ
医学部医学科 免疫学講座	石丸 かよ子	(株)はくばく	穀物の機能性に関する研究 (食事内容が食物アレルギーに及ぼす影響)
発生工学研究センター	藤本 由佳 石山 詩織 (大学院生)	(株)はくばく	穀物の機能性に関する研究 (大麦による脂肪肝、糖尿病性腎症の抑制機構の解明)
医学部医学科 小児科学講座	加賀 佳美	シミック ホールディングス(株)	発達障害児養育者の健康リテラシー（発達障害リテラシー）が、児の問題行動及びメンタルヘルスに及ぼす影響について

令和3年度

所 属	研 究 者	共同実施機関	研究テーマ
医学部医学科 免疫学講座	石丸 かよ子 長坂 優香 (大学院生)	シミック ホールディングス(株)	生活習慣がアレルギー症状に及ぼす影響
発生工学研究センター	藤本 由佳 若山 清香 石山 詩織 (大学院生)	(株)はくばく	穀物の機能性に関する研究 (大麦による脂肪肝、糖尿病性腎症の抑制機構の解明)
医学部医学科 小児科学講座	加賀 佳美	シミック ホールディングス(株)	発達障害児養育者の健康リテラシー（発達障害リテラシー）が、児の問題行動及びメンタルヘルスに及ぼす影響について

活動報告

(2) 女性研究者の研究力向上とリーダー育成

女性管理職の登用加速に向けた調査分析

令和2年度

山梨県女性管理職育成調査

目的：日本の女性管理職の割合を改善するために、山梨県の企業を対象として女性管理職を育む組織環境を明らかにすることを目的とする。

方法：郵送調査／Web調査

実施時期：令和3年2月17日（水）～3月22日（月）

調査対象：山梨県内の「女性活躍推進企業データベース」もしくは「両立支援のひろば」に登録している企業100社

令和3年度

山梨県女性管理職登用促進のための職場環境と経営者のダイバーシティに対する認識に関する実態調査

目的：女性管理職割合の改善に向けた調査の一環とし、山梨県内企業を対象として、女性管理職を育む組織環境、制度、および経営者のダイバーシティに対する認識を明らかにすることを目的とする。

方法：調査者が企業を訪問しインタビュー形式を用いた聞き取り調査

実施機関：令和3年11月11日（木）～令和4年2月28日（月）

調査対象：山梨大学女性リカレント事業に参画している企業20社

(2) 女性研究者の研究力向上とリーダー育成

次世代リーダー育成企画 女性社長対談

- 日時:** 令和3年9月21日(火) 15:00~16:30
- 場所:** 山梨大学工業会館3階会議室
(Zoom同時配信)
- 主催:** 山梨大学男女共同参画推進室、
地域人材養成センター
- 共催:** 山梨大学大学院教育マネジメント室、
シミックホールディングス株式会社、
株式会社はくばく
- 参加者:** 山梨大学および山梨県立大学の教職員・
学生、シミックグループおよび
株式会社はくばくの社員 30名
(会場20名、Zoom配信10名)
- 講師:** 株式会社アンサーノックス代表取締役
渡辺 郁(わたなべ かおり)氏

文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)

「次世代「リーダー育成」企画」
〜経営者と直接語り合う座談会形式〜
社長のキャリアロールモデルや、女性活躍に
ついでと考えを本音で語ってください。質疑問
けない質問をして、女性社長と話をしてみませんか。

わたなべ かおり
渡辺 郁氏 女性社長対談

小学校から高校までを山梨で過ごし、東京都内の学校を卒業。
新卒で流通の新規開発営業に従事後、リクルースタッフングに入社して
人材派遣の新規開発営業、労務管理等に携わる。
その後、エアライン系派遣会社の事業立ち上げ、アウトブレスメント業界を経て山梨に戻り、
2008年、製造業への外国人派遣を主要事業とする株式会社アンサーノックスを設立。
「トピアを築いてくれた人すべてに抱えたい」との思いを社名に込め、一人ひとりが最大の力を発揮
できる場所を創出する派遣会社を目指し続けている。
外国人労働者を取り扱う問題、少子化や女性の活躍推進、起業促進等の社会課題を自社での
事業展開だけでなく自治体や大学、その他団体や他社との協業でも取り組み、これらをテーマとし
た講演も数多い。

9月21日(火) 午後3時00分~午後4時30分
令和3年8月26日(木) 午後1時30分~午後3時00分

場 所: 山梨大学男女共同参画推進室交流スペース 工業会館3階 会議室

対 象: 山梨大学および山梨県立大学の教職員・学生、
シミックグループおよび株式会社はくばくの社員

申 込: 下記URLもしくは、QRコードにアクセスしお申込みください。
<https://forms.gle/EW1RgN2Pv5PKUrh6>

申込締切: 8月25日(水) - 9月17日(金)

定 員: 先着20名

問合せ: 山梨大学男女共同参画推進室 / 地域人材養成センター 支援課
[E-mail] danjo@yamanashi.ac.jp [TEL] 055-220-8562

【主催】 山梨大学男女共同参画推進室 / 地域人材養成センター
【共催】 山梨大学大学院教育マネジメント室 / 株式会社はくばく / シミックホールディングス株式会社



感想

- ・多様性を認め合うことの大切さに気づくことができました。
- ・普通はこうあるべきという思い込みや、自分にはできないという決めつけを捨てて行動していきたいです。

活動報告

(2) 女性研究者の研究力向上とリーダー育成

スキルアップセミナー 令和2年度

[Online Seminar for
Writing Academic papers in English]

日時：2021年1月15日（金） 14:00～15:30

※アーカイブ配信

方法：ウェビナー

主催：山梨大学男女共同参画推進室

協力：英文校正エナゴ

（株式会社クリムゾンインタラクティブ
・ジャパン）

参加者：山梨大学および山梨県立大学の教職員・
学生 126名（セミナー後の視聴も含む）

講師：Dr. Montserrat Sanz

内容：

- Importance of good English writing skills
- Improved knowledge about the application of English grammar in academic writing
- Importance of fluency, clarity, and readability of the manuscript
- Awareness of common mistakes made by ESL researchers while writing in English
- How to present research data effectively
- Assigning authorship
- Acknowledging sources

2020年度 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型） スキルアップセミナー

Online Seminar for Writing Academic papers in English

主催：山梨大学男女共同参画推進室 enago
協力：英文校正エナゴ

Date & Time
14:00 ~ 15:30
January 15, 2021
※セミナー後も繰り返し視聴可能です。
You can watch repeatedly after the seminar.

Lecturer
Dr. Montserrat Sanz
Full-time Professor
at Kobe City University
of Foreign Studies

Participants
Students & Researchers
at University of Yamanashi
and Yamanashi Prefectural University

Contents
How to Master the Art of Writing Manuscripts in English.
Key agenda points to be covered in the session:
i. Importance of good English writing skills
ii. Improved knowledge about the application of English grammar in academic writing
iii. Importance of fluency, clarity, and readability of the manuscript
iv. Awareness of common mistakes made by ESL researchers while writing in English
v. How to present research data effectively
vi. Assigning authorship
vii. Acknowledging sources

Registration
下記URLまたはQRコードにアクセスし、ページ右側の登録フォームより、事前に氏名・メールアドレスを登録してください。その後英文校正エナゴより視聴案内のメールが届きます。
Please visit the following URL or QR code, and you can find registration form right side the page. Please register your name and email address in advance.
Enago will send you a viewing instruction.

URL : <https://www.enago.jp/academy/master-the-art-of-writing-manuscripts-in-english> QR code :

※このセミナーは英語で行われます。
This seminar will be held in English.

Contact information 山梨大学男女共同参画推進室 MAIL: danjo@yamanashi.ac.jp
Gender Equality Office, University of Yamanashi TEL: 0255-220-8350

感想

- 先生の話し方がとても聞き取りやすく、内容が理解しやすかったです。
- 先生の英語が大変聞きやすく、プレゼンテーション資料もわかりやすかったため、英語が苦手な私でも得るものがあり、ありがたかったです。

enago

AGENDA

1	Importance of Good English Writing Skills
2	How to Structure a Research Paper
3	Common Grammatical Errors
4	Common Language Structure Errors
5	Common Writing Style Errors
6	Practical Tips on Language and Grammar
7	Editing and Proofreading
8	How to Present Research Data Effectively
9	Assigning Authorship
10	Acknowledging sources

ulatus

Copyright © 2021 Enago Academy | All Rights Reserved

(2) 女性研究者の研究力向上とリーダー育成

スキルアップセミナー 令和3年度

第1回スキルアップセミナー

[Online Seminar for Writing Academic papers in English]

日時: 令和3年6月16日 (水) 17:00~18:30
※アーカイブ配信

方法: ウェビナー

主催: 山梨大学男女共同参画推進室、
地域人材養成センター

共催: 山梨大学大学院教育マネジメント室、
シミックホールディングス株式会社、
株式会社はくばく

協力: 英文校正エナゴ
(株式会社クリムゾンインタラクティブ
・ ジャパン)

参加者: 山梨大学および山梨県立大学の教職員・
学生、シミックグループおよび
株式会社はくばくの社員
86名 (セミナー後の視聴も含む)

講師: Dr. Richard de Grijs

タイトル: How to Conduct an Impactful Original Research Study

- 内容:**
- ・ Importance of conducting original research
 - ・ How to identify an original and impactful research question via literature review
 - ・ Expert tips to write an impactful manuscript
 - ・ What is research impact?
 - ・ Strategies and tools to increase discoverability and visibility
 - ・ How to gauge the impact of your research using research metrics



感想

- ・ The webinar was very informative, thank you!
- ・ 自分の業績をしっかりPromoteすることが大事であると分かりました。

活動報告

(2) 女性研究者の研究力向上とリーダー育成

スキルアップセミナー 令和3年度

第2回スキルアップセミナー

「英語論文の書き方オンラインセミナー」

日時：令和3年9月27日（月）10:00～11:30

※アーカイブ配信

方法：ウェビナー

主催：山梨大学男女共同参画推進室、
地域人材養成センター

共催：山梨大学大学院教育マネジメント室、
シミックホールディングス株式会社、
株式会社はくばく

協力：英文校正エナゴ（株式会社クリムゾン
インタラクティブ・ジャパン）

参加者：山梨大学および山梨県立大学の教職員・
学生、シミックグループおよび
株式会社はくばくの社員
158名（セミナー後の視聴も含む）

講師：米国ニューヨーク州立大学バッファロー校
数学科 准教授
増田 直紀（ますだ なおき）博士

タイトル：論文執筆時に英語の壁を乗り越えるには？

内容：

- ・英語ライティングスキルの重要性
- ・いかにして研究論文を構成し、それぞれのセクションを効果的に書くか
- ・アカデミックライティングにおける文法事項のおさらい
- ・論文の自然な文体、明確さ、読みやすさの重要性
- ・論文特有の効果的な言い換えの方法
- ・学術論文にふさわしい語彙力を高めるには？
- ・英語が母語でない研究者が英文を書く際に犯しがちなミス
- ・原稿を推敲・校正するためのコツ

感想

- ・日本語と英語での微妙な違いや日本語も英語もわかる先生だからこそそのポイントをより詳しくご講義いただけただけで、毎日英語に触れてみようと思いました。
- ・すごく分かりやすい説明でした。特に書きやすい順番を教えてくださいえてよかったです。注意点も知ることができて、早く論文を書いてみたいと思いました。
- ・日常的に英語で書いて英語で考える癖をつけることの大切さについて再確認でき、英語論文は、日本語で執筆した論文の翻訳ではいけないということを改めて考えさせられました。

(2) 女性研究者の研究力向上とリーダー育成

若手研究者育成セミナー(全3回)

日時: 令和3年8月19日(木)、9月2日(木)、9月16日(木)の各日15:00~17:00

方法: Zoom配信

主催: 山梨大学男女共同参画推進室、地域人材養成センター

共催: 山梨大学大学院教育マネジメント室、シミックホールディングス株式会社、株式会社はくばく

参加者: 山梨大学および山梨県立大学の教職員・学生、シミックグループおよび株式会社はくばくの社員
第1講義86名、第2講義78名、第3講義76名

講師: 東北大学未来科学技術共同研究センター教授 池田 郁男(いけだ いくお)氏

タイトル: 生物科学系研究者のための生物統計

内容: 講師著書「改訂増補版: 統計検定を理解せずに使っている人のために」に基づく講義

第1講義 8月19日(木)

統計学の基礎、他

第2講義 9月2日(木)

2群のパラメトリック検定、他

第3講義 9月16日(木)

3群以上のパラメトリック検定



文部科学省科学技術人材育成費補助事業、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型) 令和3年度 若手研究者育成セミナー

統計学講座

生物科学系研究者のための生物統計

令和3年
8月19日(木)、9月2日(木)、9月16日(木)
3日とも15:00~17:00 オンラインセミナー (Zoom)

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)では、若手研究者の研究力向上、スキルアップのための取組の一環として、統計学セミナーを全3日間の日程で実施します。今年度はZoomを使用したオンラインセミナーです。奮ってご参加ください。

日時	内容
8月19日(木) 15:00~17:00	統計学の基礎(記述統計と推測統計)、母集団と標本の違い、パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の違い、標準偏差(SD)とは?、標準誤差(SE)とは?、統計検定の原理(有意差とは?)
9月2日(木) 15:00~17:00	2群のパラメトリック検定(Student t test、Welch test、Paired t test)、等分散性の検定、2群のノンパラメトリック検定(ワイルコクソン順位検定、ワイルコクソン符号順位検定)
9月16日(木) 15:00~17:00	3群以上のパラメトリック検定(一元配置分散分析、多重比較、多変性の問題、二元配置分散分析)

対象: 山梨大学および山梨県立大学の教職員・研究員・大学院生等、株式会社はくばくおよびシミックグループの社員

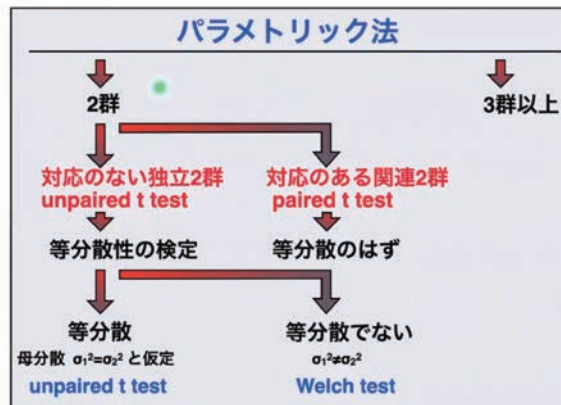
講師: 池田 郁男氏 (東北大学未来科学技術共同研究センター)

申込方法: 下記URLまたはQRコードにアクセスし、Googleフォームより事前申込みをお願いいたします。受講日講演前日までにZoomの視聴URLをメールにてお送りします。
※申込締切: 8月16日(月)
【URL】 <https://forms.gle/macPBqhhv1FoiT97> 【QRコード】

お問い合わせ: 山梨大学男女共同参画推進室/地域人材養成センター 支援課
【E-mail】 danjo@yamanashi.ac.jp
【TEL】 055-220-8350

【主催】 山梨大学男女共同参画推進室/地域人材養成センター
【共催】 山梨大学大学院教育マネジメント室、株式会社はくばく/シミックホールディングス株式会社

統計検定の流れ



一般的統計書に書かれている検定の手順

感想

- 基本的なことではあるが、参考書などではここまで詳細にわかりやすく説明がなかったため、言葉の意味を含めて今まで以上に理解することができた。
- 何となく分らなかったことが理解できました。検定結果を読む上で、基本的な概念が分かると理解が高まるため、大変勉強になりました。
- SDとSEの算出法は知っていたが、着目している点の違いがわかり良かった。

活動報告

(2) 女性研究者の研究力向上とリーダー育成

山梨大学が行った取り組み

地域貢献型研究支援

本事業では、「女性研究者育成」を連携の中心に置き、産学間の活発な人材交流によって、女性の能力を生かしたイノベティブな研究を推進する環境を創設し、地域人材の育成と産業活性化への貢献を目指しています。

取組の一つとして、地域の活性化につながる共同研究を進めている「女性研究者」を対象とし、令和2年度は推薦、令和3年度は公募により研究支援を行いました。

令和2年度

地域貢献型研究支援（計4件）

研究者	所属	研究テーマ
八重樫 咲子	工学部土木環境工学科	環境DNAを利用した甲府盆地小河川の水生生物調査
渡邊 寛望	工学部メカトロニクス工学科	マルチスペクトルカメラを利用したモモせん孔細菌病被害枝の検出装置の研究開発
乙黒 美彩	ワイン科学研究センター	白ワインにおけるマロラクティック発酵の技術開発
井上 絵梨	ワイン科学研究センター	日本ワインのテロワール解析

研究支援（計2件）

研究者	所属	研究テーマ
若山 清香	発生工学研究センター	バイオ医薬品工場としてのカイコの新たな利用法の開発とその維持
伊藤 友香	医学部医学科生化学講座	TGF- β シグナル制御に関する機能性食品の開発

(2) 女性研究者の研究力向上とリーダー育成

令和3年度

地域貢献型研究支援（計10件）

研究者	所属	研究テーマ
乙黒 美彩	ワイン科学研究センター	ワインの自然発酵における酵母菌叢に及ぼすブドウ熟成期の気温の影響解析
井上 絵梨	ワイン科学研究センター	ワイン産地山梨における地球温暖化に対応する赤ワイン用品種の評価
斉藤 史恵	ワイン科学研究センター	日本ワインの微生物汚染防止に向けた基礎的研究：マスカット・ベリーA由来産膜抑制成分の探索
佐藤 友香	大学教育センター	SDGsとデータサイエンスで山梨をグローバルにとらえる分離融合教材の開発
宮本 和子	国際交流センター	甲府市中心街の「地域つながり拠点」形成プロセスの検証
井上 久美	工学域基礎教育センター	細胞間物質伝達を光で可視化するバイポーラ電気化学顕微鏡素子の高感度化に関する研究
武末 裕子	教育学部芸術身体教育講座	山梨のふれてみる美術鑑賞 地域連携によるアプローチの展開
向井 真那	生命環境学部環境科学科	生態学的な観点から考える放置老齡人工林の管理意義
鴨川 明子	教育学部幼小発達教育講座	山梨県の学校において、いかにして女性管理職を増やすか？—ジェンダーに配慮した初任者教員研修プログラムの策定—
八重樫 咲子	工学部土木環境工学科	環境DNA分析に基づく水生昆虫群集調査手法の検討と甲府盆地における水生昆虫多様性の解明

活動報告

(2) 女性研究者の研究力向上とリーダー育成

Coの花フェローシップ

Coの花フェローシップ制度は、将来を担う創造性に富んだ女性研究者の育成に向け、研究に専念できる環境の提供とキャリアパスの確保を支援するもので、大学院博士課程に在籍する優秀な女子学生に対し、研究専念支援金及び研究費が支給されます。

【令和3年度Coの花フェローシップ支給対象学生】

所 属	氏 名	研究計画	指導教員
大学院医工農学総合教育部 博士課程 統合応用生命科学専攻 生命農学コース	石山 詩織	発生初期胚を栄養不良培地αMEM培地にて体外培養し、産まれたマウス(MEMマウス)を用いて、日本人型2型糖尿病モデルの病態解明(脂肪肝、糖尿病性腎症)および出生後の大麦投与による病態抑制効果について検討する。	望月 和樹
大学院医工農学総合教育部 博士課程 ヒューマンヘルスケア学専攻	今井 崇恵	文部科学省の調査によると小学校教員の一日の休憩時間の合計は約6分である。また、精神疾患による休職者は5482名となり、近年、増加傾向にある。本研究では、休憩時間の短さが心身に与える影響に関するアンケート調査を行い、統計学的手法を用いて分析を行う。	宮村 季浩

男女共同参画学術研究奨励賞

男女共同参画推進室では、平成28年度に、優れた研究成果を挙げた本学の女性研究者を顕彰することにより、その研究意欲を高め、将来の学術研究を担う優秀な女性研究者の育成及びこれによる男女共同参画の促進等に資するため、山梨大学男女共同参画学術研究奨励賞を創設しました。

表彰の対象者は本学に所属する女性研究者(大学院生・研究員等ならびに学部生を含む)または本学の女性研究者を研究代表者とする研究グループで、次の各号に掲げる賞の区分に応じて行います。

- 優秀賞** 教育研究のマネジメントにおいて優れた業績を挙げたと認められる者、もしくは、学術上優れた研究成果を挙げたと認められる者または研究グループ
- 奨励賞** 40歳未満の女性研究者又は博士取得後8年未満(ただし、産休・育休期間を除く)で、優れた研究成果を挙げることが期待されると認められる者

(2) 女性研究者の研究力向上とリーダー育成

令和2年度

日時：令和2年11月18日（水） 14:00～14:30

場所：山梨大学
大村智記念学術館大村記念ホール

次第：授賞式開始
受賞者紹介
各賞授与
学長祝辞
受賞者挨拶
記念撮影



受賞者：奨励賞 工学部メカトロニクス工学科 助教 渡邊 寛望
大学院医工農学総合教育部博士課程
工学専攻 環境社会システム学コース 秋葉 祐里

令和3年度

日時：令和3年11月16日（火） 14:00～14:30

場所：山梨大学
大村智記念学術館大村記念ホール

次第：授賞式開始
受賞者紹介
各賞授与
学長祝辞
受賞者挨拶
記念撮影



受賞者：奨励賞 大学院医工農学総合教育部博士課程
医学専攻 小林 恵
大学院医工農学総合教育部博士課程
統合応用生命科学専攻 生命農学コース 石山 詩織
大学院医工農学総合教育部修士課程
生命環境学専攻 食物・ワイン科学コース 森山 綾音

活動報告

(3) 女性研究者の上位職登用、裾野拡大

連携して行った取り組み

ホームページの開設

令和3年2月18日（木）、3機関（山梨大学、シミックホールディングス株式会社、株式会社はくばく）の連携・運営である「Yamanashi Network for Diversity & Innovation」のホームページを公開しました。（<https://diver-danjo.yamanashi.ac.jp/>）

また、本事業におけるプロジェクトのイメージとなるロゴマークを作成いたしました。このロゴマークには、Yamanashiの「Y」とDiversityの「D」の文字を合わせています。「Y」の文字は躍動感ある人のシルエットとし、また、「D」の文字は色数の多さに“多様性”の意味を込めています。



ホームページ（トップページ）

ロゴマーク



活動報告

(3) 女性研究者の上位職登用、裾野拡大

News Letterの発行

News Letter Vol.1
2021年1月発行
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)

この度、2020年度科学技術人材育成補助事業(ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型))に採択されました。本事業は、山梨大学が代表機関となり、株式会社ほくほく、シミックホールディングス株式会社と連携して申請したもので、「女性研究者育成」を連携の中心に置き、産学間の活発な人事交流によって女性の能力を生かしたイノベーションな研究を推進する環境を創出し、地域人材の育成と産業活性化に貢献できればと考えています。

ご挨拶

■代表機関：山梨大学 男女共同参画推進室 室長 風間 ふたば
山梨大学男女共同参画推進室は、当初の目標を定めて、学内の各部署に取り組み進めてまいりましたが、今回はその範囲を広げて企業との連携に挑戦し、ソフト・ハード両面から、徹底した取り組みを進めたいと考えています。産学連携の推進を進めたいと考えています。産学連携の推進を進めたいと考えています。産学連携の推進を進めたいと考えています。

■共同実施機関：株式会社ほくほく 取締役管理部長 田邊 征治
ほくほくでは、男女問わず全社員がいそいそと取り組んでいる職場の実現を目的とし、ソフト・ハード両面から、徹底した取り組みを進めたいと考えています。産学連携の推進を進めたいと考えています。産学連携の推進を進めたいと考えています。

■共同実施機関：シミックホールディングス株式会社 COO 大石 圭子
この度は2020年度科学技術人材育成補助事業(ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型))の採択おめでとうございます。当事業の取り組みを通して、地域における女性活躍を推進し、産学連携の推進を進めたいと考えています。産学連携の推進を進めたいと考えています。

連携体制

山梨大学 山梨大学男女共同参画推進室
株式会社ほくほく 株式会社ほくほくダイバーシティ推進室
シミックホールディングス株式会社 シミックホールディングス株式会社ダイバーシティ推進室

新たな取組内容

ダイバーシティ推進の推進
産学連携の推進
産学連携の推進

ご報告 「イクボス宣言」を行いました

2020年10月28日(水)、山梨大学甲府キャンパス大村記念学術館にて、Zoom(同時配信)において、「2020年度ダイバーシティマネジメント研究会」を開催し、講演会後に「イクボス宣言」を行いました。

研究会では、NPO法人ファーストリンク・ジャパン(代表理事の安藤裕也(あんだゆうや)氏より、「イクボスが実現する職場の人材を活かすマネジメント」と題してご講演いただきました。講演後は、講演者の安藤氏が立会人となり、山梨大学および山梨県立大学学長の両氏が、「それぞれが個性や能力を發揮し、地域と世界に向けて学びの成果を働かせることができ、生き生きとした職場環境を醸成するイクボス」を目指すことを宣言し、宣言文を署名しました。

研究会には7名(録画、Zoom配信)が参加しました。研究会後のアンケートでは、「力強いメッセージで心に残りました。」「実践に向けて動機づけを感じ、自ら意識を変えていきたいと思いました。」「私自身反省する部分、これからは伸ばしていく部分など、見直しをします。」等の感想をいただきました。

ご報告 2020年度山梨大学男女共同参画学術研究奨励賞表彰式を開催しました

2020年11月18日(水)山梨大学甲府キャンパス大村記念学術館にて、第5回山梨大学男女共同参画学術研究奨励賞表彰式を開催しました。この賞は、優れた研究成果を上げた本学の女性研究者を顕彰することにより、研究者の研究意欲を高め、新米研究者を奨励する目的で創設されたものです。工学部マカトロニクス工学科の遊道望助助教(研究テーマ：複層積層基板工学的な導電性材料(研究テーマ：複層積層基板工学的な導電性材料(研究テーマ：複層積層基板工学的な導電性材料))、大学院院工学部社会システム工学専攻(研究テーマ：多角形/円形構造の設計)の佐藤 隆雄(たかお)先生(工学部)が受賞されました。山梨大学学長より受賞者への激励の言葉とともに、賞状と授賞状が授けられました。

Vol.1
(令和3年1月発行)

News Letter Vol.2
2021年3月発行
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)

ご報告 令和2年度研究支援が決定しました

■共同研究支援制度
本学が代表機関として採択されたダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)では、シミックホールディングス株式会社、株式会社ほくほくが共同研究を行う本学の女性研究者が決定しました。

■地域貢献型女性個別研究支援制度
女性研究による地域の活性化につながる研究を支援します。今年度は各学域からの推薦を得た4件の研究テーマに支援を行いました。

ご報告 キックオフシンポジウムを行いました

令和3年3月1日(明)、山梨大学甲府キャンパス大村記念学術館(Zoom(同時配信))において、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)キックオフシンポジウム」を開催しました。

ご報告 英語論文の書き方セミナー(オンライン)を開催しました

令和3年1月15日(金)、山梨大学甲府キャンパス大村記念学術館にて、Zoom(同時配信)において、「英語論文の書き方セミナー(オンライン)」を開催しました。英訳校正エナゴの協力を得て、Dr. Montserrat Sanzを講師としてご講演いただきました。

ご報告 Yamanashi Diversity Networkのホームページおよびロゴマークが完成しました


令和3年2月18日(水)、3期制(山梨大学、株式会社ほくほく、シミックホールディングス株式会社)の連携・運営である「YAMANASHI DIVERSITY & INNOVATION」のホームページが公開されました。

ご報告 Researchers Vol.8を発行しました

令和3年3月、山梨大学の研究者を紹介する電子ジャーナル「Researchers」を発行いたしました。

Vol.2
(令和3年3月発行)

(3) 女性研究者の上位職登用、裾野拡大



ご報告

令和3年度Coの花フェロシップ制度の支給対象学生が決定しました

Coの花フェロシップ制度は、将来を担う創造性に富んだ女性研究者の育成に向け、研究に専念できる環境の提供とキャリアアップの確保を支援するもので、大学院博士課程に在籍する優秀な女子学生に、研究助成金及び研究費が支給されます。

【令和3年度Coの花フェロシップ支給対象学生】

所属	氏名	研究計画	指導教員
総合応用生命科学研究センター	石川 詩晴	終生学術に貢献不能なMEM組換えに体外培養し、産まれたマウスを用いて、日本人肥大型糖尿病マウスモデルを用いて、糖尿病と関連する遺伝子（PDK、EPA等）を探索する。	望月 和樹
ヒューマンヘルスケア専攻	今井 美穂	文部科学省の調査による小学校教員の一日の身体活動量の社会的付加価値を明らかにする。身体的活動による健康増進効果について、追加的・相対的効果を検証する。本研究では、身体活動の促進がもたらす影響に関するアンケート調査を行い、統計学的分析を実施する。	宮村 季浩

ご報告

Coの花支援を実施しました

山梨大学では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でアルバイト収入の減少など経済的に困難な女子学生に、生活用品の配布を実施しました。本事業は、経済的困難を克服し、女子学生の生活不安を取り除くことを目的に防災物資を活用し、試行的に実施したものです。甲府キャンパスでは4月28日から5月14日まで、医学部キャンパスでは5月6日から14日までの期間、計2回実施しました。対象となる女子学生は、甲府キャンパスの会場を訪れた留学生を含む学生31人に、生活用品一式を手渡しました。また、生活費が乏しいなどの理由で、甲府キャンパスの会場を訪れたほか、生活の困りごとなどを相談した学生もいました。訪れた学生からは、「アルバイト先が休業し収入がなくなったので大変助かります。また、このような機会があればうれしい」と感謝するコメントが寄せられました。山梨大学では、本事業を通じて学生の困難やニーズを把握し、必要に応じ今後協力企業等を募るなど、第2弾、第3弾と継続することも検討しています。

ご報告

英語論文の書き方セミナー(オンライン)を開催しました

令和3年6月16日(水)、山梨大学および山梨県立大学の教員・学生、シニアホールディングス株式会社および株式会社はるばるの協賛により、英語論文の書き方セミナー「Online Seminar for Writing Academic papers in English」を開催しました。英文校正サービスの協力を得て、Dr. Richard de Grijpを講師として開催しました。質疑応答コーナーでは、「How to Conduct an Impactful Original Research Study」に関して、講師のDr. Richard de Grijpから熱心な指導をいただきました。このセミナーには、86名(セミナー後のアンケート)が参加しました。参加者の皆さんからは、「The seminar was very informative, thank you!」(自分の業績をしっかりとPromoteすることが大事である)などの感想をいただきました。

Vol.3
(令和3年7月発行)



お知らせ

復帰支援制度および論文投稿費と英文校閲費支援制度の利用者を募集します(※学内限定)

【女性研究者に対する産休・育休からの復帰支援制度】
この制度は、産休・育休によって研究活動から離れた研究者が、復帰後に研究活動に再び取り組む際の負担を軽減し、研究活動に復帰することを目的とするものです。

【女性研究者に対する論文投稿費と英文校閲費支援制度】
この制度は、ライフイベントにより研究活動から離れた女性研究者が、論文投稿費と英文校閲費の負担を軽減し、研究活動に復帰することを目的とするものです。

【対象】
産休・育休期間中に研究活動から離れた研究者(産休・育休期間中に研究活動から離れた研究者)が、復帰後に研究活動に再び取り組むことを目的とするものです。

【助成対象】
産休・育休期間中に研究活動から離れた研究者(産休・育休期間中に研究活動から離れた研究者)が、復帰後に研究活動に再び取り組むことを目的とするものです。

【申請の方法】
山梨大学 地域人材養成センター 男女共同参画推進室 までお問い合わせください。

【募集期間】
令和3年4月～9月(随時)随時

【お問い合わせ先】
山梨大学 地域人材養成センター 男女共同参画推進室
〒400-8510 山梨県甲府市南大井1-1-1 山梨大学 地域人材養成センター 男女共同参画推進室
TEL: 055-220-4351 E-mail: dnp@yamashita.ac.jp



ご報告

令和3年度ダイバーシティマネジメント研修会を開催しました

令和3年6月30日(水)、山梨大学甲府キャンパス大村記念学術館(ZOOM同時配信)において、令和3年度ダイバーシティマネジメント研修会を開催しました。

研修会には、内閣府地域働き方改革推進チーム委員の渡辺由緒(あづまなほ)先生をお招きし、「ダイバーシティ・女性活躍を取り入れたマネジメントとは～すべての人が働きがいのある職場づくりを考えよう～」と題して講演いただきました。講演では、ご自身の発達障害がきっかけで、ダイバーシティマネジメントの本質や多様な人材をマネジメントする上で、多面的な観点から「加算方式」を採用する必要性などについてお話いただきました。

この研修会には、学内外合わせて84名(会場25名、ZOOM配信59名)が参加しました。研修会後のアンケートでは、「講師の目標の明確さにまず感があったため、具体的分りやすかったです」「ダイバーシティという言葉は～すべての人が働きがいのある職場づくりを考えよう～」と題してご講演いただきました。講演では、ご自身の発達障害がきっかけで、ダイバーシティマネジメントの本質や多様な人材をマネジメントする上で、多面的な観点から「加算方式」を採用する必要性などについてお話いただきました。などの感想をいただきました。

ご報告

令和3年度共同研究支援の継続が決定しました

本事業では、シミックホールディングス株式会社、株式会社はるばる共同研究を行う女子学生を昨年より支援しています。今年度は、研究申請書・報告書に添削の内容及び今後の発展性について株式会社はるばるよりシミックホールディングス株式会社の担当者と意見交換を行い、来年の共同研究を継続してまいりますとの結論に至りました。

継続支援する共同研究テーマと共同研究先は、以下のとおりです。

継続支援する共同研究テーマ	共同研究先
1 穀物の機能性に関する研究	株式会社はるばる
2 アレルギーマシンの研究	シミックホールディングス株式会社
3 発達障害者研究者のリーダーシップと児童のメンタルヘルスに関する研究	シミックホールディングス株式会社



お知らせ

山梨大学男女共同参画学術研究奨励賞を公募します

第6回「山梨大学男女共同参画学術研究奨励賞」を公募いたします。これは、女性研究者の研究費をさらに高めて実施すること、将来の学術研究を担う優秀な女性研究者を育成すること、本学の男女共同参画を促進することを目的として実施しております。

【対象】
本学に所属する女性研究者(大学院生・研究員等ならびに学生を含む。)または本学の女性研究者を研究代表者とする研究グループで、次の各号に該当する者の区分に応じて行うものとする。

(1) 優秀賞 教育研究のマネジメントにおいて優れた業績を挙げた認められる者。もしくは、学術上優れた研究業績を挙げた認められる者(ただし、産休・育休期間を除く。)、優れた研究業績を挙げた認められる者

(2) 奨励賞 40歳未満の若手研究者又は博士取得者グループ

【公募期間】 令和3年7月15日(水)～令和3年9月30日(水)

【提出先】 山梨大学男女共同参画学術研究奨励賞 推薦書(別添付)・表彰の別添付と各号に該当する資料等(該当資料がある場合)

【提出方法】 推薦書が、上述の提出書類を下記メールアドレスにお送りください。学内郵便にてお送りください。学内郵便にてお送りできない場合は、男女共同参画推進室までお問い合わせください。

E-mail: dnp@yamashita.ac.jp
お申し込み実施要項、推薦書等はこちら(https://diver-danjo.yamashita.ac.jp)をご覧ください。

【お問い合わせ先】 山梨大学 地域人材養成センター 男女共同参画推進室
TEL: 055-220-4351 E-mail: dnp@yamashita.ac.jp

Vol.4
(令和3年9月発行)

(3) 女性研究者の上位職登用、裾野拡大

山梨大学が行った取り組み

ロールモデル集「ナシダイResearchers」の発行

男女共同参画推進室では、学生のみなさんが研究職に興味を持ち、将来の職業選択の幅が少しでも広がることを願って、山梨大学の研究者を紹介するロールモデル集「ナシダイResearchers」を作成しています。本冊子では「研究者になったきっかけ」や、「癒し&気分転換の方法」「中高生におすすめの体験」についてご紹介いただいています。本冊子は、山梨大学教職員・学生のほか、山梨県内の中学校、全国の高校、他大学等へも配布しております。



令和2年度
(令和3年3月発行)



令和3年度
(令和4年3月発行)

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型） 令和2～3年度事業報告書

代表機関	国立大学法人山梨大学
共同実施機関	シミックホールディングス株式会社 株式会社はくばく
発行	令和4年3月
作成	国立大学法人山梨大学 男女共同参画推進室
住所	〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37
電話	055-220-8350
F A X	055-220-8351
E - m a i l	danjo@yamanashi.ac.jp
U R L	https://danjo.yamanashi.ac.jp/

「ダイバーシティが牽引する地域活性化とイノベーション～食・医療・女性のパワーが拓く未来社会～」の令和2～3年度事業報告書の著作権は、国立大学法人山梨大学男女共同参画推進室に帰属します。よって、本冊子（デジタル加工を含む）の転載および二次利用に際しては、男女共同参画推進室の許諾を必要とします。



文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)
YAMANASHI NETWORK
FOR DIVERSITY & INNOVATION

